

**製品名:** リン酸化グルココルチコイド受容体 (Ser226) ウサギモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMRe02854

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.22mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 86 kDa; Observed MW: 94 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	NR3C1
別名	NR3C1; GRL; Glucocorticoid receptor; GR; Nuclear receptor subfamily 3 group C member 1
遺伝子 ID	2908
SwissProt ID	P04150
免疫原	ヒトグルココルチコイド受容体の Ser226 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

## 背景

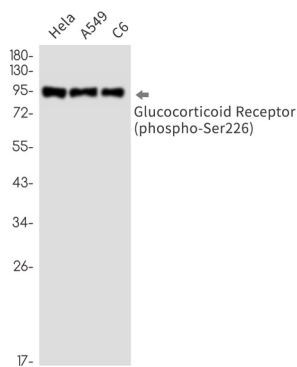
この遺伝子によってコードされるタンパク質はグルココルチコイドの受容体であり、転写因子としてだけでなく、他の転写因子の調

節因子としても機能します。コードされているタンパク質は、ホモ二量体として、またはレチノイド X 受容体などの他のタンパク質とヘテロ二量体として DNA に結合します。このタンパク質は、熱ショック因子やイムノフィリンとともに、ヘテロ二量体細胞質複合体にも存在します。

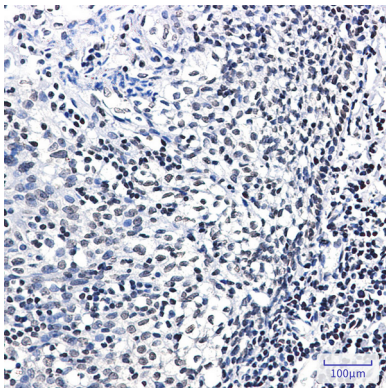
## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



ホスホグルココルチコイド受容体 (Ser226) 抗体を使用した、HeLa、A549、C6 溶解物中のホスホグルココルチコイド受容体 (Ser226) のウエスタンブロット分析。



グルココルチコイド受容体 (リン酸化 Ser226) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。